

# ニュースレター No.25 ハーモニー・ライフ 平成 18年4月28日発行

## 総会・親睦会・講演会のお知らせ

ゴールデンウィークに突入となりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新年度の総会・親睦会を下記のように予定いたします。講演会では、病気にかかったときに活用できる制度や社会的資源について、埼玉がんセンターのソーシャルワーカーである新井良子先生にお話いただきます。高額療養費、傷病手当金、生活保護、障害手帳、障害年金、介護保険など等・・・実際に使える制度等についても知らないことは多いのではないのでしょうか。ぜひ皆様お誘い合せの上、ご参加ください。

昨年皆様をお願いした受診状況のアンケート結果と、3月に開催されました国際消化管遺伝性腫瘍学会の報告をさせていただく予定です。また、今年度は会として助成金を獲得(詳しくは掲載記事を参照)できたので、より幅広い活動ができそうです。皆様の積極的なご参加を期待しております。ぜひ皆様お誘い合せの上、ご参加ください。

記

日時:平成18年5月21日(日)

総会 午前10時30分～

議題:平成17年度事業報告、収支決算報告、

平成18年度役員選出、事業案、予算案ほか

講演会 午前11時15分頃～

埼玉県立がんセンター医療福祉相談室

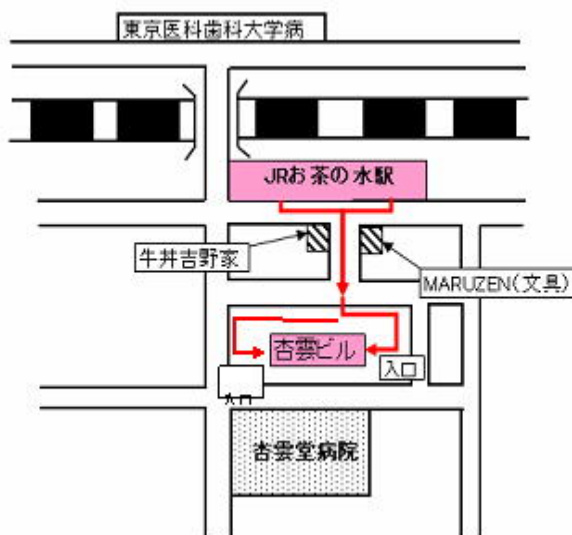
ソーシャルワーカー 新井良子先生

「がんと医療費—活用できる制度・

社会資源—」

親睦会(昼食会)～午後2時

場所:杏雲ビル2階メモリアルホール  
(東京都千代田区神田駿河台 2-2  
佐々木研究所付属杏雲堂病院  
向かい)



\* 入り口が一ヶ所しか開いていな

いのでご

注意ください。

交通:JR 中央線 御茶ノ水駅 徒  
歩 4 分  
営団地下鉄千代田線 新御茶  
ノ水  
駅 徒歩 4 分  
営団地下鉄丸の内線 御茶ノ  
水駅  
徒歩 5 分

**参加費(お弁当代込):**大人(会員)500円、(会員外)1000円、小人(~中学生)無  
料

(尚、返信用紙を同封しておりますので、5月17日までにご返送ください。会員の方には返信用封筒を同封しています。会員でない方は事務局に郵送、FAXして下さい。メールの方は返信用紙の内容を下記アドレスにご連絡ください。

(申し込み先:ハーモニー・ライフ事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
1-8-12

佐々木研究所附属杏雲堂病院 FAX:03(3292)3376、メールアドレス;  
takeday@sfc.keio.ac.jp)

今後の集会のお知らせ

## 「権藤延久先生を囲む会」2006.3.5 に参加して

慶應義塾大学看護医療学部3年の関口敏彰です。先日の「権藤延久先生を囲む会」では、権藤先生や参加された皆様からのお話を聞かせていただき大変勉強になりました。ありがとうございました。遺伝性のものであること、手術後におきてしまうことなどによって、多くの問題や悩み、そして不安を抱えられているのだと知りました。皆様からのお話にあった内容は教科書にある知識からだけでは想像しきれないものであり、看護学生として大変貴重な学びの機会となりました。

私事ではありますが、私は看護を学んでおりますが今は2回目の大学生活となります。前の大学では社会心理学を専攻しておりました、そのときに「セルフヘルプグループ」について興味を持ち少し勉強したことがあります。このグループは同じ問題を持った本人や家族が集まり、仲間同士が支え合うというものです。

ハーモニー・ライフもこの「セルフヘルプグループ」といえるでしょう。このグループには次のような機能があると学びました。同じ問題を抱えているからこそ、問題に対しての相手の体験的知識や工夫のアドバイスを受けて参考にすることができるし、逆に相手に与えることもできる。自分と同じ仲間がいて、その人を身近に感じられることで自分は独りではないのだと勇気づけられる。他にも様々な機能が期待できると学びました。その中でも特に私が素晴らしいと思ったのは「ヘルパーセラピー原則」といわれるもの

です。「人を援助することで最も援助を受ける」とリースマンという学者は言い、この原則の概念を打ち出しました。

自分の問題に対しての体験的知識が、同じような問題を持つ仲間を援助する力になると知ることによって、「問題を抱える自分」というマイナスの自己概念を打ち破り、自らをより積極的に受け入れられるようになってさらに自尊心も高まる。援助を受ける人が、同時に援助を与える人にもなりえるのです。これは病気という問題に限らず、生活上のいろいろな問題にも言えます。知り合いの相談にのるときにも同じことが言えるでしょうし、私にも体験があります。当時私は「人にとっての癒しとは何だろう？」と考えていました。少し前の癒しブームの頃でしたから、マイナスイオンやアロマやフワフワしたクッションなどが流行りだしたときです。でも私はこのような人の関係こそが本当の癒しではないかと思いました。今回の「権藤先生を囲む会」に参加させてもらったとき、この癒しのようなものを皆様が共有されているような印象を受け、かつての自分の学びを思い出していました。

今回は時間の関係上皆様に質問させていただくことができませんでしたが、今後機会がございましたら上記のことに関していろいろ皆様にお話を伺わせていただきたいと思っております。ここに医療の現状を改善するヒントがあると私は思っております。またお手伝いさせていただきながら皆様の活動に参加したいと思っておりますので、今後よろしくお願い致します。



## 新しい情報

### カプセル小腸内視鏡検査が試用できる様になりました

家族性大腸腺腫症(大腸ポリポーシス、FAP)は、名前にあるような大腸のポリープ(組織学的には腺腫と言います)だけでなく、十二指腸や小腸にも腺腫ができます。年齢が進みますと、時に悪性化することも有ることが分かって参りました。小腸を調べるには、X-線検査、小腸内視鏡検査(ダブル・バルーン方 DBE)があります。X-線は技術が必要で検出率が劣ります。DBE はかなり苦痛を伴い、全小腸を見るのがなかなか困難です。

最近、カプセルに内視鏡を組み込んで、電波で画像を受信装置に送る方法が開発されました。欧米では一般的検査になっており安全性もほぼ明らかにされております。しかし日本ではまだ保険採用されておられません。私共は、研究費用の一部に厚生労働省のがん研究助成金を用いて、FAP の患者さんにカプセル内視鏡を試していただく研究計画を立て、杏雲堂病院の倫理委員会で施行を承認していただきました。まだ、保険採用がなく試用なので、カプセル小腸内視鏡検査そのものの費用は一切かかりません。ただし外来、入院等の諸費用、その他一般診療に必要な検査や治療には医療保険が適用されます。

この検査の安全はほぼ明らかになったとはいえ、腸に狭い部分があった場合、長期間(2週間以上)そこにカプセルが停留する場合があることが、一番やっかいな問題です。したがって、腸閉塞を起こしたことのある患者さんには、当面まだ試用できません。将来は、一定期間腸に留まると溶けるカプセルにより通過するかどうかを試すことができれば、より多くの患者さんにも使用可能となると思います。実施期間は2006年5月中頃から2007年3月までの期間の予定です。カプセル内視鏡(申請して購入すると定価65,000円程度)は30人分まで用意する予定です。詳しくは施行責任者であります杏雲堂病院外科、岩間毅夫までお尋ね下さい。

連絡先:

101-0063 東京都千代田区神田駿河台 1-8  
佐々木研究所附属杏雲堂病院外科  
TEL 03 3292 2051, FAX 03 3292 3376  
[iwama@po.kyoundo.jp](mailto:iwama@po.kyoundo.jp)



---

#### ご案内

ジャパン・ウェルネス創立5周年記念  
第4回パシエント・アクティブ・フォーラム  
がんと向き合う、がんに向き合う  
～まず もらう そして あげよう心の元気～

2006年5月13日(土)13:30～16:30

会場:赤坂区民センター

〈所在地〉東京都港区赤坂 4-18-13 赤坂コミュニティぷらざ 3F

〈アクセス〉地下鉄銀座線・丸の内線「赤坂見附駅」A出口より徒歩10分

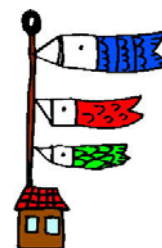
定員:400名(応募者多数は先着順)

参加費:無料

お申し込み方法

往復ハガキに、氏名、住所、電話番号、フォーラム参加希望と明記の上、下記の事務局までご応募ください。

※応募締切は5月8日(月)消印有効 ●送付先・お問い合わせ先  
ジャパン・ウェルネス事務局〒107-0052 東京都港区赤坂  
6-4-20 赤坂ヴィラージュ 701 TEL:03-5545-1805 FAX:03-5545-1806



## 総会にご参加の皆様にお願い

親睦会では、参加者の方々が自由に話をしていただくためにも自己紹介をいただくことが多いのですが、さあ、これからいろいろなお話を・・・という時に終了時間が近づいてしまっ、という経験が多くありました。そこで、あらかじめ参加の返信時に簡単な自己紹介を書いていただき、配布させていただくことで、より早くお互いを知り、お話しやすい雰囲気になるのではないかと案が役員から出されました。そこで、早速今回の総会で実施してみることといたしました。もちろん書いたものを配布することに抵抗を感じる方もいらっしゃると思いますので、回収資料とさせていただきます。書いていただく内容は自由でよいと思います。役員の方の自己紹介サンプルです。

**Aさん:** 年齢 50 代後半。性別女性。今気になること。半年に一度の注腸ファイバーにあわせて年に一度の胃カメラ。検査のつらさは気にならなくなったけどやはりファーター乳頭の部分がまた腺腫化しないかドキドキです。次の一年安心の為の保障をもらう気分です。

**Bさん:** 30代女性 既婚 悩んだ事・・・10・20代は病気の事がまわりに知られないように隠していた。知られる事が恥ずかしかった。食事最後のこと(排泄)を考えてしまい、楽しく食べる事が出来なかった。今現在・・・30代、ようやく自分の病気の事を受け止められるようになり食事楽しくよく食べます。現在の悩み・・・パートナーがどのくらい病気に対して理解をしてくれているのか。100%は望まないが一番身近な家族には病気の正しい知識や家族のどんな支えが大きな力になるかを知って欲しい。もうじき40代・・・手術を受けて得た命、まだまだ悩む事もあるけれど、毎日をどんなふうに通し自分の人生をどれだけ豊かにできるかそれが今の楽しみです。

**Cさん:** 私の悩み・・・術後腸閉塞等で入退院を何回か繰り返した事があったので勝手な言い方ですが家族の多大な心配や気遣いが少々、負担に感じる事 50 代後半女性 上手く気持ちを書けていませんが、ニュアンスが伝われば良いのですが・・・どうぞよろしくお願いいたします。

**Dさん:** 現在の気がかりは、この活動を始めたきっかけでもあることです。これから年金生活にはいるにあたり、医療費が変わらずかかりつづけることに不安を感じている。(男性)

---

[ハーモニー・ライフ事務局]

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-12  
財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院(岩間毅夫)  
03-3292-2051

入会のご案内と会費納入のお願い

「ハーモニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に、下記の振込口座に年会費(2000円)を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。お知り合いの方で入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

<年会費の郵便振込口座>

振込口座番号:00100-9-69372

加入者名:ハーモニーライフ

事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-12

佐々木研究所附属杏雲堂病院(岩間毅夫)

TEL03(3292)2051

FAX03(3292)3376